

10月22日（火）、5年2組で国語科の努力点公開授業が行われました。単元は「どちらを選びますか」です。収集した情報を基に、伝えたいことが明確になるように情報を取捨選択して、自分の立場を勧める理由を書くことが目標です。今回の授業では、『和食』か『洋食』かをテーマに、自分の立場を決めて、理由を書きます。

初めに、収集した情報を、経験、考えたこと、伝えたいことの三つに整理したことを確認しました。そして、タブレットの協働学習ソフトを使い、色カードに書く活動に進みました。しかし、カードに書こうとすると、いろいろ書いてしまい、カードの内容が自分の伝えたいことと合わない場合があります。そこで、教師が、インターネットなどで得た情報は、どの部分を引用するのかを考えないと、情報量が膨大になってしまうため、情報を取捨選択しなければならないことを伝えました。



【情報整理の確認をする様子】

次に、伝えたいことが伝わりやすくなるには、情報を示す順序も考える必要があることを伝え、考えさせました。近くの友達とどのような基準で順序を決めるとよいか、話し合いをさせました。話し合いの後、児童は、伝える順序を、①伝えたいこと②経験③考えたこと、と考えました。その後、資料の整理を行いました。さらに、整理した情報について、グループで見合い、伝えたいことが明確になっているか、カードの順序はよいかを確認しました。中には、「これってどういうこと？」と内容を尋ね、伝わりにくいことを指摘し合う児童の姿も見られました。



【整理した情報を見合う児童】

最後に、話し合いを基にカードの順序を最終決定し、文章に表す活動に移りました。ここで、教師が、文章をつなぐときに使う言葉について児童に尋ね、前時までに学習した「接続詞」に着目させました。児童は、カードに書かれたことを、順に、接続詞でつなぎながら、すらすらと文章に書くことができました。しかし、どの接続詞でつなげばよいのか分からない児童は、なかなかカードをつなげて書けませんでした。そこで、今回は、つながりが不自然になっていないかを隣同士で点検したり、つながりが不自然であれば別の接続詞を考えたりするということを伝え、授業を終えました。



【資料の整理をする児童】

書くことや文章構成を表に整理しておくことで、文章が書きやすくなります。しかし、今回の学習のように、情報量が膨大になる場合は、情報をためておくこと、情報を取捨選択すること、書く順序を考えることが難しくなります。そこで、今回の授業のように協働学習ソフトを使えば、情報をたくさん書き溜めたり整理したりしやすく、また、順序を入れ替えることも簡単です。最近では、このように、紙のよさ、電子機器のよさを生かし、授業に取り入れています。